

神奈川県立麻生支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立麻生支援学校における学校運営協議会		
開催日時	令和7年2月17日(月)		
開催場所	神奈川県立麻生支援学校会議室		
(役職名) 出席者	(会長) 佐藤委員、品川委員、村野様(石垣委員代理)、谷委員、山口委員、小林委員、伊藤委員、山崎委員 <学校職員> (副校長) 山岸、(教頭) 原島、石上、(事務長) 江藤、(総括教諭) 宮澤、風間、杉本、土肥、堀井、栗澤、小川、鈴木		
欠席者	岡本副会長、久保田委員、石垣委員		
次回開催予定日			
問合せ先	所属名：麻生支援学校、担当者名：原島 典子 電話番号：044-980-4855 ファックス番号：044-986-2517		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	
会議経過	1 開会 2 校長挨拶(麻生支援学校 山崎校長) 3 学校評価部会 (1) 令和6年度年間評価について、アンケートを基に山岸副校長より資料に沿って説明。 視点1 目標1：AB 合計 75%以上。良い評価 目標2：AB 合計 50～59%。約半数。 視点2 目標3：保護者 44%、職員 65%。 目標4：保護者 54%、職員 51% 視点3 目標5：保護者 81%、職員 85%。良い評価 目標6：保護者 80%、職員 74%。良い評価 視点4と視点5：「切れ目ない支援部会」「学校設置部会」にて取り上げのため省略。 (2) (1) について御意見・御質問 (○委員、●学校関係者) ○・評価が子どもの変容というところできっかりととらえられているところが良い。 ・特支の免許状を持たないものが来られた時のサポート体制が整理されていることが非常に良い。 ●視点1～3については、よい評価をいただいた。取り組みについては引き続き進めていきたい。		

4 切れ目ない支援部会

(1) 「もっとつながるあさおプロジェクト」地域と共同した取り組みについての最終報告について総括教諭より説明。学校間交流、地域のイベント参加、学校行事、通学支援、20周年記念事業等、様々な機関、施設とのつながりを深めるとともに学校についての発信を行ってきた。次年度も地域の方々にご協力いただきながら進めていきたい。

(2) 意見交換 (○委員、●学校関係者)

○地域を巻き込んで学校がどんどん出ていくことに共感が持てた。元石川高校との交流など他校との交流はうれしいもの。展示会における感想カード等、伝えるうれしさ、もらえる喜びは励みになる。

○施設においても地域との交流をやっているが、コロナが終わってからは関わりを考えていくこともなかなか大変だった。それがここまで可能になったこと、担当の先生方の努力はとても良いと思った。

○備えるフェスタへの参加について、地域振興として展示等いろいろ御協力いただきありがたかった。次年度もお願いしたい。

5 学校設置部会 (○委員、●学校関係者)

① スクールバス地域救援部会

《取り組みの状況》

●2月より施行でGPSを試している。IP電話も使うことができるため、発災時に電話がつかないときでも位置情報が得られる。

●協力場所や協力依頼のステッカーを検討中。作成は来年度。

●防災パートナーシップの協定が締結された(元石川高校)。田園調布学園大学も相談が続いている。

《協議》

●SBの中にも水や紙パンツ等を補充した。GPSを施行し、パソコンで位置情報を見られるようにしていく。パートナーシップ協定を今後も進めていく。

○このような話の実現していくことがうれしい。

○こども文化センターにおいては、工夫をしながら避難可能であることを確認。ステッカーについても協力する。

○SBは麻生区内のみならず、広範囲を走行している。広い地域で話を進めていってはどうか。

○SBポイントに放課後等デイサービスの方が迎えに来られる際に、遅延が起きた時の連絡方法について検討が必要。

○市で実施している一時避難の防災会議があり、この会への参加も検討してはどうか。

② 丁寧なかかわりのスタンダード部会

《取り組みの状況》

●学校のHPへ記載、保護者へ配付、職員会議の場で各学部より好事例の発表を実施。

●保護者アンケートを実施し、111名より回答。80%以上ができていたという回答であった。コメントもたくさんいただいた。

《協議》

○当事者意識を持つことが大事。

○スタンダードに即した内容をキーワードにして、クラスリーダーが振り返りを行うことで、意識を持つことができると思われる。

○授業参観後に保護者からの感想を聞く時間を設定してはどうか。

○茶話会の実施と教職員の参加を今後も続けられるとよい。

○保護者の生の声を聴くことが大事。

	<p>○学校で大切にしてほしいことを保護者の方に書いてもらうことで、より内容が深まる。</p> <p>○「みんなで作る丁寧なかかわりのスタンダード」を目指すことができるとよい。</p>
6 各委員より	<p>《山口委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の外に出ていく活動について、結果も出てきている。アンケートも分かりやすい形で整えることができている。 ・SNS を使った犯罪が増えてきている。現場としては危機的な状況として考えている。教育現場においても指導をお願いしたい。 <p>《伊藤委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度 PTA の役員となり、このような会に参加することで、学校の取り組み等を間近に見ることができた。PTA の存続は本校だけでなく他校も含めて難しい状況であるが、このような機会に関われることを考え、誰にでも入りやすい PTA 活動を作っていきたい。 <p>《小林委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を重ねるごとに取り組みが実現されている。関わることで光栄だった。次年度以降もぜひ参加できるとありがたい。 <p>《谷委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から今年度にかけて感染症の方が多く出た。医療的ケアや呼吸器使用の方もいる。先を見通しながら考えてほしい旨を川崎市にもお願いしている。一緒に考えていけるとよい。 <p>《品川委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めての参加であった。学校とどのようなことができるか考える良い機会となった。文化センターとしても何ができるのかを発信していかなければならない。3 月以降、人が替わったとしてもつなげていけるように頑張っていきたい。 <p>《村野様》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻生区として麻生支援学校はとても貴重で有意義な施設であると考えている。来年度も引き続き麻生区の事業に協力いただき、一緒に連携して進めていけるとよい。 <p>《佐藤会長》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員からの支援が実のある前進につながった部分が多く、この会の存在意義を強く感じている。 ・学校評価については、教職員の努力と意思が詰まっていることが実感できた。 ・今年度は、校長のビジョンが明確であった。また、学校の課題に対して学校設置部会を効果的に配置できたこと、学校のメンバーが支援の欲しいポイントを明確に委員に提示してくださったことで、各委員の皆さんにおかれても専門性を生かすことができた。 ・仕組みを整える部分と指導の部分どちらもおろそかにならないように両輪で進められるとよい。
7 校長の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、学校の取り組みに対してご意見や励まし等をいただくことが会のスタンダードであったが、学校設置部会を設定し、どのようなことをやりたいのか、どのようなことを支援してほしいのかを明確にした。 ・1 年目ということで学校を回していくことについては準備不足もあり、うまく反映できなかった。 ・委員からの意見は背中を押された。専門家の意見としての説明はとても心強かった。 ・昨年、下校時刻の変更について 1 年間かけて取り組んできた。協議会の後ろ盾があったおかげ。 ・スクールバス地域救援部会における GPS の設置については、発災時の位置確認の内容として協議で出てきたアイディア。この GPS は、猛暑の中で

	<p>バス遅延時にバスポイントで待つ子どもたちが、到着時刻等を確認することができる等、子どもたちの命を守るツールとして結びついていく。</p> <ul style="list-style-type: none">・丁寧なかかわりのスタンダードのアンケートについては、保護者アンケートの出し方について熟慮いただき、結果たくさんの言葉をいただいた。どういうアプローチをすれば保護者から答えをもらえるのか、とても大事な視点であった。・委員の方々からいただいた言葉は、聞き漏らすことのないように、また今後先生たちや保護者の皆様へ説明する際の後盾としていきたい。1年間ありがとうございました。
	<p>8 閉会</p> <p>以上</p>